

特別養護老人ホーム こじか荘 自己評価表

令和7年11月30日作成

1. 日常生活援助サービス

食 事	食堂の雰囲気づくり	C
	食事の選択	C
	料理の保温に対する配慮	B
	食事介助のペース	A
	栄養管理	A
入 浴	入浴日以外の入浴	B
	身体の状況に応じた入浴方法	B
	羞恥心への配慮	B
	タオルの準備	A
排 泄	排泄自立	A
	深夜・早朝のおむつ交換	A
	羞恥心への配慮	B
	排泄記録表の作成 適切な用具の使用	A
寝たきり 防 止	寝・食分離	B
	総臥床時間の減少の努力	B
自立援助	寝間着・日常着の区別	C
	自立を促す適切な介助 自助具・補装具の設置	B
外出や外泊 への援助	自立を促す適切な介助	B
	自助具・補装具の設置	B
会 話	外出の機会の確保	C
	家族への働きかけ	C
レクリエ ーション等	利用者への言葉づかい	B
	適切なコミュニケーション方法の実行	B
認知症への 対応	主体的な参加・活動	C
	多彩なメニューの工夫	C
	家族・ボランティア等の参加	C
	適切な対応 プログラム等への配慮 抑制・拘束の有無 活動的な生活の援助 環境の整備 医学的配慮	B
利用者の 自由選択	嗜好品の自由	B
	テレビ・新聞・雑誌等の自由な利用	B
	髪型・服装の自由	B
	外部との自由な連絡 金銭等の自己管理 施設外部との交流	C

2. 専門的サービス

施設サー ビス計画	ケアプランの策定(入所者の意見反映)	B
	ケアプランの策定(ケアカンファレンス)	B
	ケア記録(記録の管理と活用)	B
看護介護	入所者および家族への説明	A
	家族との連携	A
	感染症対策	A
	十分な体位交換	A
	職員間の情報交換・伝達	B
	睡眠・食事・排泄状況等の把握	A
	服薬管理	A
リハビリ テーション	口腔ケア	A
	「生活の中のリハビリテーション」の指導	C
	用具の工夫	B
	立案・会議・再評価の実施 専門家の指導による計画的な機能訓練	A
社会サー ビス	入所者の苦情への対応	B
	自己評価	A
	家族への情報提供	A
	家族との話し合い・相談 経済的・社会的相談	B

3. その他のサービス

入退所に関 する項目	パンフレットの準備・施設見学の実施	B
	入所にあたっての重要事項の説明	A
	入所者や家族への説明	A
	退所先への情報提供	B
	専門職員による入退所相談	A
在宅支援	定期的な入所継続判定	B
	通所介護(通所リハビリ)の実施 短期入所生活(療養)介護の実施	B

4. 地域連携

協力医療機関	十分な連携	A
	入所者等への説明	A
住民参加	ボランティア・実習生の受け入れ・育成	A
	ボランティア・実習生専任担当者の配置	B
権利擁護事業	地域住民との交流	B
	後見人との連携	A
他機関・他施 設との連携	関係機関との連携・協力	A
	関係施設との連携・協力	A
広報活動	広報誌等による情報提供(内容を情報公開)	A
	地域住民等へのPR	B

5. 施設設備環境

施設設備	快適性への配慮	B
	車椅子使用等への配慮	B
	個室・2人部屋の整備	B
	デイルーム・談話室の整備	B
	自立のための器具の準備	A
	私物収納スペースの確保	B
	ナースコールの円滑な作動	A
施設内環境 衛生	家族宿泊室の整備	B
	食堂への手洗いの所の設置	B
	清掃・清潔	B
	異臭の有無	B
	施設内安全への配慮	B

6. 運営管理

職員への教 育・研修	施設の趣旨及び運営理念の徹底	B
	動作介助技術の周知	B
	新任職員のための系統的な教育	A
	職員研修や勉強会の計画的実施	A
	施設外への研修会・学会等への積極的参加	A
記録・調査	専門資格取得の促進	A
	記録の管理・活用	B
プライバシー	入所者へのアンケート調査の実施	B
	人権・プライバシーへの配慮 入所者の情報の漏洩への配慮	A
情報開示	個人情報の開示	A
	財務諸表の公開	B
事故発生時 の対応	避難訓練等の実施	B
	大規模な地震等に備えた対応	B
	対処方法の確立と徹底	B
	対処方法の機能性	B
	ヒヤリハット事象への対応 記録の有無 賠償資力の確保	A

- | |
|-------------------------------|
| [A]...実施できており、さらに優れた取組を行っている。 |
| [B]...実施できている。 |
| [C]...実施できているが不十分。 |
| [D]...実施できていない。 |